

作成日： 2019年6月10日

# 安全データシート (SDS)

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称： ニチノーアワエース

会社名： 株式会社アグリマート

住所： 〒104-0031 東京都中央区京橋 3-12-2 京橋第2有楽ビル

担当部門： 技術グループ

TEL. 03-5159-1711 FAX. 03-5159-1712

推奨用途及び使用上の制限： 白蟻防除剤用起泡剤

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類

危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示 なし

注意喚起語 なし

危険有害性情報 なし

注意書き なし

他の危険有害性： 特になし。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分： 混合物

成分及び含有量：

3-メトキシ-3-メチル-1-ブタノール 2.5%

イソブチレン・無水マレイン酸共重合物のナトリウム塩架橋物 1%未満

水 残

化審法番号： 既存

安衛法番号： 既存

CAS番号： あり

## 4. 応急措置

吸入した場合： 被災者を新鮮な空気の場所に移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合： 多量の水及び石鹼で洗い流す。症状が出た場合には必要に応じて医師の診断を受ける。

眼に入った場合： 直ちに清浄な水で15分以上洗眼(まぶたの裏までよく洗う)した後、症状が出た場合には必要に応じて医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合： 水で口の中を洗浄し、コップ1~2杯の水又は牛乳を飲ませる。無理に吐かせてはならない。被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。症状が出た場合には必要に応じて医師の診断を受ける。

## 5. 火災時の措置

消火剤： 二酸化炭素、粉末、泡、水噴霧

特定の消火方法： 火元への燃焼源を絶ち、消火剤を使用して消火する。  
周囲の設備などに散水して冷却する。

消火を行う者の保護： 消火活動は、可能な限り風上から行き有毒なガスの吸入を避ける。

消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項： 漏出防止、除害などの作業は、必ず保護具(手袋、保護眼鏡)を着用する。

環境に対する注意事項： 流出した製品が河川などに排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

回収、中和、封じ込め及び浄化の方法・機材：

土砂等の不燃物で囲い流出を防止し、スコップまたは吸引機等で空容器に回収する。回収後の少量の残留分は、土砂またはオガクズ等に吸収させ回収する。残留分が極少量の場合は、ウエス等で拭き取る。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い： 取扱いの際は適切な保護具(保護衣、保護マスク、保護眼鏡、保護手袋、安全靴)を着用し、眼や皮膚への接触や吸入を避ける。  
取扱い時には飲食、喫煙をしない。  
製品の飛散、漏出物等がないようにする。

保管： 直射日光を避け、換気のよい冷暗所で、密封できる容器に入れて保管する。  
小児の手の届かない所に保管する。  
食品や飼料と区別して保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策： 局所排気装置を使用する。または通気をよくする。取扱い場所の近くに、洗顔及び身体洗浄のための設備を設ける。

管理濃度： 未設定

許容濃度： 未設定

呼吸用保護具： 保護マスク

目の保護具： 保護眼鏡

保護手袋： 適切な保護手袋

保護衣： 適切な保護衣および保護長靴

## 9. 物理的及び化学的性質

外観： 無色透明粘性の液体

臭い： かすかなエーテル臭。

比重： 1.005 (25°C)

pH： 9.38 (25°C)

引火点： データ無し

自然発火性： データ無し

## 10. 安定性及び反応性

化学的安定性： 通常の取扱い条件では安定。  
危険な反応： 知られていない。  
危険有害な分解生成物： 知られていない。

## 11. 有害性情報

急性経口毒性： データ無し  
急性経皮毒性： データ無し  
急性吸入毒性： データ無し  
皮膚腐食性及び皮膚刺激性：  
データ無し  
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：  
データ無し  
皮膚感作性： データ無し  
特定標的臓器毒性(単回ばく露)：  
データ無し  
特定標的臓器毒性(反復ばく露)  
データ無し

## 12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性)： データ無し  
水生環境有害性(長期間)： データ無し  
  
生態毒性： データ無し  
  
残留性・分解性： データ無し  
生体蓄積性： データ無し  
土壌中への移動性： 水に溶けて土壌に移行する可能性がある。  
オゾン層への有害性： データ無し

## 13. 廃棄上の注意

法、条例等に従って安全に処理する。または産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。  
残薬及び洗浄液は、下水等の水系に捨ててはならない。

## 14. 輸送上の注意

容器に異常の無いことを確かめ、転倒、落下しないように積載する。

国連番号： 該当しない  
国連分類： 該当しない  
容器等級： 該当しない  
海洋汚染物質： 該当しない

輸送時の安全対策： 運搬に関しては、容器に破損、漏れのないことを確認し、転倒、落下、損傷が内容に積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。  
直射日光、風雨に直接暴露しない状態で輸送する。

## 15. 適用法令

毒物及び劇物取締法： 該当せず  
化審法(旧第二種監視化学物質)： 該当せず  
労働安全衛生法  
表示対象物(法57条、施行令第18条)： 該当せず。  
通知対象物(法57条の2、施行令第18条の2)： 該当せず。  
化学物質排出把握管理促進法(化管法)  
指定化学物質： 該当せず。

## 16. その他の情報

### 参考文献

- 1) JIS Z 7252 : 2014、GHS に基づく化学物質等の分類方法
- 2) JIS Z 7253 : 2012、GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)

本データシートの記載内容は、この化学品の取扱い時の安全性に関する参考情報であり、安全性や品質の保証をなすものではありません。また危険性、有害性の評価は、必ずしも充分ではありませんので、取扱いには充分注意を払って下さい。